

■ 平和都市宣言 市民意見 検討表(第9回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第9回の検討結果
文 量 等	全体	97	文 量	○より短くすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・9月21日を平和の日に定めているから宣言するわけではない。 ・特定日(9月21日)を明示することに違和感があり、削除しても文章の意味は通じる。 ・9月21日は事業レベルではないか。
	⑨	24		○高山市の紹介部分を、少し控えめにすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・⑦と⑧(資料2)とを入れ替えてはどうか。 ・平和の日制定から3年しか経過していないから触れないということではなく、これからが大切。 ・平和の日をステップにして、都市宣言を作っていくと考えると残したい。 ・国際平和デーが9月21日と周知されていない。認識していただくためにも入れた方が良い。
	⑧⑱	20	文言(世界へ発信)	○市民の平和への行動について、対外的にアピールする部分を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを盛り込むことは難しい。子ども向けの説明や補足で、説明していくのが良い。 ・⑦『さらに、国際平和デーにあたる9月21を「高山市平和の日」と定め、』は、高山市の平和の取り組みとして、大切であり、残したい。
	⑧⑱	21	文言(世界へ発信)	○戦争をしているところに訴えかける文章を入れること。	<ul style="list-style-type: none"> ・案1 国際平和デーにあたる9月21日を「高山市平和の日」と定め、 ・案2 ⑦のまま <p>●結果:案1とする。その他は修正なし。</p>

■平和都市宣言 市民意見 検討表(第9回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第9回の検討結果
分かりやすさ等	全体	94	分かりやすさ	○(子どもには、)難しい。子ども向けに、より簡単な言葉を使用すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・広島、長崎の平和宣言にも「恒久平和」が入っている。 ・「恒久平和」は、日本国憲法の前文(日本国民は、恒久の平和を念願し、)にあり、中学で学習する。細かく解説しない方が良い。 ・子どもに考えてもらうという意味では、あえて解説を作らないということも選択肢。 ・<u>子どもには、親が説明できるし、家族で話したり、辞書をひいたりして、勉強してもらいたい。子ども自身が、イメージを膨らませてほしい。</u> ・恒久平和は、定着している言葉。 <p>●結果:修正なし</p>
	全体	95	分かりやすさ	○子ども用の宣言を作成すること。	
	全体	96	分かりやすさ	○子ども達に分かるように、絵を添えること。	
	⑧	16	分かりやすさ	○「恒久平和」という言葉が難しいため、別の言葉に言い換えること。	
	⑩	30	分かりやすさ	○「脅威」という言葉は難しいため、別の言葉に改めること。	
	⑳	86	分かりやすさ	○「市制施行」との言葉は、難しいため、別の言葉に改めること。	
	⑲	83	文章表現	○倒置法に違和感がある。普通の文章とすること。朗唱しにくい。	
⑲	84	体裁	○行動を示す文章について、分かりやすくするため、最初の文と後の3つの文の間に、空欄を設けたり、「」をつけたりすること。	<p>●結果:保留</p> <p>※最終文案完成時に再確認</p>	

■ 平和都市宣言 市民意見 検討表(第9回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第9回の検討結果
具体性等	⑧	15	具体性	○「世界に向けて恒久平和の実現を訴えています」を具体的な表現にすること。	<p>・前回までの考え方(市民の平和への行動を促す宣言文とする。ただし、行動を限定せず、読んだ人が、各々にイメージを膨らませることができる文章としたい。)のとおり。</p> <p>●結果:修正なし</p>
	⑱	79	具体性	○具体性がない。どう行動すれば良いかを示す内容(指針)を記載すること。	
	⑱	80	具体性	○自然や文化、人との絆、多様な文化を尊重するだけでは、平和は守れない。これ以外の取り組みを記載すること。	
	⑱	81	具体性	○絶対、戦争をしないという意志表明を記載すること。	
	⑱	82	行動制限の懸念	○市民の行動として示している文章を、市民の平和への行動を制限しないものとする。	

■平和都市宣言 市民意見 検討表(第9回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第9回の検討結果
文言等 (市の紹介)	②	1	文言(飛騨山脈)	○高山市の豊かな自然の代表として、莊川地域からは「飛騨山脈」が望めないため、「白山連峰」を加えること。	・前回までの考え方(飛騨山脈に代表される として としており、飛騨山脈以外に配慮)のとおり。 ●結果:修正なし
	③⑬	4	文言(豊かな自然)	○高山全域が、自然が豊かなわけではないし、昔と比べても、自然が減っているため、高山の自然を、「豊か」と形容しないこと。	・厳しい自然もあることから、「恵まれ」ではなく、「囲まれ」としている。 ・文字通り、自然に囲まれているため、「囲まれ」が良い。 ・「囲まれ」の方が、飛騨山脈以外の自然を想像しやすい。 ●結果:修正なし
	③	5	文言(豊かな自然)	○「豊かな自然に囲まれ」は、単に位置的表現であるので、「豊かな自然に恵まれ」もしくは「豊かな自然に包まれ」とすること。	●結果:修正なし
	⑤	10	文言(国際観光都市)	○観光都市は、高山の一部の地区のみ。また、「国際観光都市」だから平和宣言するとの印象があるため、「国際観光都市」の表現を見直すこと。	・昭和61年の「国際観光都市宣言」には、「 <u>伝統的文化都市・高山市を、…広く交流を通じ、諸外国に理解を求めるとともに、…市民参加を基調とした国際親善を推進するため…宣言します。</u> 」とある。 ・文化があり、学んでもらえる都市が国際観光都市と考えた場合、国際観光都市は残したい。
	⑤	11		○『国内外の多くの人々に愛される「国際観光都市」』とすること。	・国内外から多くの人々が訪れるから、国際観光都市ではないので、「国内外から多くの人々が訪れる」は削除したい。この場合、「育み」とするか「育む」とするか。 ・「育む」とすると、④「祭りや匠の技などの伝統文化を育む」のみが国際観光都市に係ることになってしまう。
	⑨	22	文言(国際文化都市)	○観光に偏重しているため、「国際文化都市」などの面について、記載すること。	●結果:国内外から多くの人々が訪れる「国際観光都市」 ●結果:「育み」のままとする。
	⑥	12	文言(周りとのつながり)	○「周りとのつながり」について、詳しく記載すること。	・前回までの考え方(「周りとのつながり」は、人と自然、異文化交流など、いろいろな意味をイメージさせる。)のとおり。
	⑥	13	文量	○文の流れをスムーズにするため、「周りとの」を削除すること。	●結果:修正なし
	⑦	14	接続詞	○「さらに」を、「また」などの別の接続詞に改めること。	・前回までの考え方(恒久平和の実現を訴えていることを強調するため、「また」ではなく、「さらに」とする。)のとおり。 ●結果:修正なし